

施設名	町田市生涯学習センター	設置目的	
利用者数	7278件/68,144人(2020年度)	市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、もって町田市における豊かな生涯学習社会の実現に資する。	
運営形態(導入年)	直営		
設置者(所管)	生涯学習部生涯学習センター(教)		
受託者	-		
0) 事例の特徴	-	基本情報	
		分類	生涯学習センター
		施設規模	8階建ビルの6~8階
		開館時間	9:00~22:00
		休館日	第4月曜日
		職員数	24名
1) 講座事業(白数字=民間、黒数字=行政)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>①公民館事業...コンサート、時事問題、平和祈念事業、まなびテラス、講座づくり☆まちチャレなど</li> <li>②ことぶき大学...高齢者向け。「楽しく学んで豊かに生きる」をコンセプトに実施。</li> <li>③家庭教育支援事業...保護者向け講座、親子向け行事など。</li> <li>④障がい者青年学級...知的障がいのある方を対象に「生きる力・働く力の獲得」を目的に実施。</li> <li>⑤まちだ市民大学...「あなたを励まし、地域を育てる」をコンセプトとした地域課題解決講座。</li> <li>⑥センターまつり、利用者交流会...生涯学習センター利用者の成果発表の場</li> <li>⑦さがまちカレッジ...さがまちコンソーシアムによる加盟教育機関の専門性を活かした学習講座。(町田市は会場提供の形で協力)</li> </ul>			
2) 施設貸出			
定員158人のホール、音楽室、視聴覚室、調理実習室、美術工芸室、学習室、和室など17施設を貸し出し。			
【主な利用料金(全日)】			
ホール(12,750円)			
視聴覚室(4,850円)			
学習室(1,600~4,850円)			
和室(2,200~3,300円)			
3) 情報提供・その他特徴的な事業			
【情報提供】			
①生涯学習情報誌「生涯学習NAVI」の発行(年4回)			
②生涯学習ボランティアバンク...講師・指導者をサークル・団体に紹介。			
【その他事業】			
①学生活動報告会「ガクマチ」...高校・大学生世代の若者による地域活動の報告会。			
4) 民間活力導入の評価			
-			



生涯学習センター 館内図

6階



7階



8階



施設名	九段生涯学習館	設置目的	
利用者数	7956件(2019年度)	区民の生涯学習の振興を図ることを目的とし、生涯学習活動を実践できる場の提供及び支援に関する事業を行う。	
運営形態(導入年)	指定管理(2007～)		
設置者(所管)	地域振興部生涯学習・スポーツ課(首)		
受託者	(株)小学館・集英社プロダクション		
0)事例の特徴		基本情報	
<p>町田市の年間利用件数(7,300件)に近い利用件数で、同程度の規模の施設と考えられる。同規模施設の民間活力導入事例であるとともに、区内に生涯学習施設が2館しかないうちの中核館であり、機能集約の点からも参考となりうる。</p> <p>また、指定管理者制度を導入しながら一部事業については施設を借用し直営で実施するといった柔軟な対応が見受けられ、事業展開上も参考にすべき点がある。</p>		分類	その他施設
		施設規模	9階建ビルのB1～6階
		開館時間	9:00～21:00
		休館日	第3月曜日
		職員数	19名
<p>1)講座事業(白数字＝民間、黒数字＝行政)</p> <p>①講座・講習会・・・趣味・教養・技術系。学習のきっかけづくり。仲間作り。</p> <p>②区民自主企画・運営講座・・・区民が企画し、運営。</p> <p>③家庭教育学級</p> <p>④子ども自然教室</p> <p>⑤ちよだ生涯学習カレッジ・・・地域デザインコース有。カレッジ事務局を施設内に別に設置。</p> <p>⑥生涯学習出前講座「ほりばた塾」・・・直営実施。市の各部署主催の49講座を地域展開。</p> <p>⑦日曜青年教室・・・障がいのある方向け。直営で施設で実施。</p>			
<p>2)施設貸出</p> <p>定員100人のレクリエーションホール、音楽視聴覚室、多目的室、集会室、学習室、和室、陶芸用電気炉、九段ギャラリーなど18施設を貸し出し。</p> <p>【主な利用料金(全日)】</p> <p>ホール(9,400円)</p> <p>音楽視聴覚室(7,500円)</p> <p>集会室(2,300～6,000円)</p> <p>和室(4,600円)</p>			
<p>3)情報提供・その他特徴的な事業</p> <p>【情報提供】</p> <p>①千代田生涯学習ガイドブックの発行(年1回)</p> <p>②人材バンク・・・講師をサークルに紹介。人材バンク活用講座(年7回)。</p> <p>【その他事業】</p> <p>①講座講習会バウチャー制度・・・区が指定する講座を受講した場合の受講料半額補助。</p>			
<p>4)民間活力導入の評価</p> <p>施設利用実績については、改修工事による施設利用休止や新型コロナウイルス感染症拡大に伴うサークル活動自粛など、明確な理由による一時的な利用率の低下はやむを得ないものと思われる。ソーシャルディスタンスの確保が求められるコロナ禍においては、小規模な部屋の利用率向上は困難が想定されるが、引き続き努力されたい。</p> <p>日常的な施設の受付業務においては、「サービス向上委員会」立ち上げの結果として、自動翻訳機の設置や施設予約可能期間の前倒しなど、利用者の視点に立ったきめ細かいサービスの向上が図られていることを評価する。</p> <p>実施事業に関しては、区民の企画を指定管理者が支援して実施する講座が、新しいサークルの発足や既存サークルの新規会員加入に寄与しており、生涯学習活動支援として有効に機能している。また、施設の新規利用者増加による施設の利用率の向上も期待できる。</p> <p>昨年からフェス形式で実施している区内生涯学習交流事業「九段フェス2020」は、参加団体にも好評で今年はより多くの参加が予定されていたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止となった。生涯学習団体の交流拠点としての役割を更に充実していくためにも、本事業の定着及び発展を望む。(令和元年度事業報告概要より)</p>			



◆開館時間

午前9時 - 午後9時

休館日:第3月曜日(祝日の場合は次の平日)、  
12月29日~1月3日

◆所在地

〒102-0074 千代田区九段南1-5-10

電話:03-3234-2841

FAX:03-3262-7460

◆アクセス

東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線

「九段下」駅下車 6番出口前

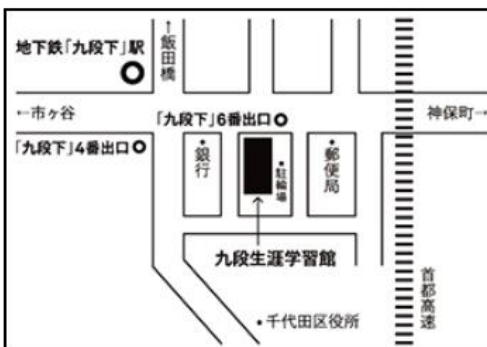
都バス(飯64・高71系統)「九段下」バス停下車 徒歩1分

◆駐車場

九段生涯学習館には駐車場がありません。

近隣のコインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関でご来館ください。

ギャラリーをご利用の場合のみ、搬入・搬出の際にご予約をいただいでご利用可能です。



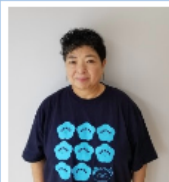


施設名	ネットたまぐーセンター	設置目的	
利用者数	86,304人(2016年度。市民会館最終年)	市民に文化活動及び地域交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、生活文化の向上と生涯学習の振興に寄与する	
運営形態(導入年)	直営・ネーミングライツ(2019年～)		
設置者(所管)	教育委員会社会教育課		
受託者	ネットヨタ多摩(株)		
0)事例の特徴			
<p>青梅市公共施設再編計画により、既存の青梅市民会館、青梅市民センター、釜の淵市民館、永山ふれあいセンターの4施設を集約・複合化し設置された施設。2019年度の新施設オープンに合わせネーミングライツを導入し、ネットヨタ多摩株式会社と5年間の協定を締結。これに伴い「青梅市文化交流センター」から「ネットたまぐーセンター」に改称している。</p>		基本情報	
		分類	その他施設
		施設規模	地下1階地上4階単独
		開館時間	9:00～22:00
		休館日	第3月
		職員数	8名+シルバー、警備
1)講座事業(白数字=民間、黒数字=行政)			
<p>市主催事業も行われているが、市民・民間の事業主体。「青梅市における生涯学習関連事業は、教育行政だけでなく、一般行政においても活発に行われています。現在各事業の担当課で独自に企画・実施されている事業を、市民の生涯学習の推進という視点で捉え直し、情報を共有し、相互に連携・協力関係を築いていく」(第6次青梅市生涯学習推進計画より抜粋)という考え方に立脚しており、青梅市公式HPにも施設のイベント一覧は存在しない。</p>			
2)施設貸出			
<p>定員271人の多目的ホール、バンドルーム、文化活動室、研修室、ミーティングルーム、会議室、アートルームなど20施設を貸し出し。</p> <p>【主な利用料金(全日)】                  ホール(18,000円、土日祝23,000円)                  バンドルーム(2,200円)                  ミーティングルーム・会議室(900円～3,900円)</p>			
3)情報提供・その他特徴的な事業			
<p>○あそびばコーディネーター・・・「みんなのあそび場」をコンセプトに施設を運営しており、4名のあそびばコーディネーターを委嘱し、事業運営を補助している。</p> <p>○生涯学習講師・指導者人材ガイド・・・人材バンク制度。青梅市シルバーマイスター(高齢者支援課)という福祉部門の人材バンク制度と連携。</p> <p>※一部事務を本庁の社会教育課が行うことで、施設スタッフ数を少なく設定している。</p>			
4)民間活力導入の評価			
<p>ネットヨタ多摩(株)との協定により、2019年度～2024年度の間、毎年度108万円のネーミングライツ料が青梅市に支払われることになっている。</p>			



あそびばコーディネーター

あそびばコーディネーターとは、ネットたまぐーセンター利用者に身近な存在として、施設運営を託施設をみんなの『あそびば』として、自由な発想で利用してもらうため、以下の4名に委嘱しました。



森本(もりもと) 真也子(まやこ)

- ニックネーム：まやちゃん
- 得意なこと：楽しいことを企画すること。
- よくいる曜日・時間：イベントのある日
- メッセージ：何か楽しいことないかな〜と思ったら来てみて！！ 何かが見つかるかも。



須崎(すざき) 八州治(やすはる)

- ニックネーム：やっちゃん
- 得意なこと：ピアノ・マラソン・プランター菜園
- よくいる曜日・時間：火曜日・水曜日・金曜日・土曜日・日曜日の9時~13時と多目的ホール使用時
- メッセージ：たまぐーは、利用者の皆さんが楽しくのびのびと真面目に心豊かに活動できる施設(あそびば)です。市民と行政の間をとりもつパイプ役になれたらうれしいと思います。お声をかけてくださいね！

林由佳里

林(はやし) 由佳里(ゆかり)

- ニックネーム：ゆかちゃん
- 得意なこと：うたうこと・料理
- よくいる曜日・時間：月曜日・土曜日・イベントの日
- メッセージ：おいでよ！ みんなの『あそびば』へ！ 用事のある時もない時も、あそびに来てください！

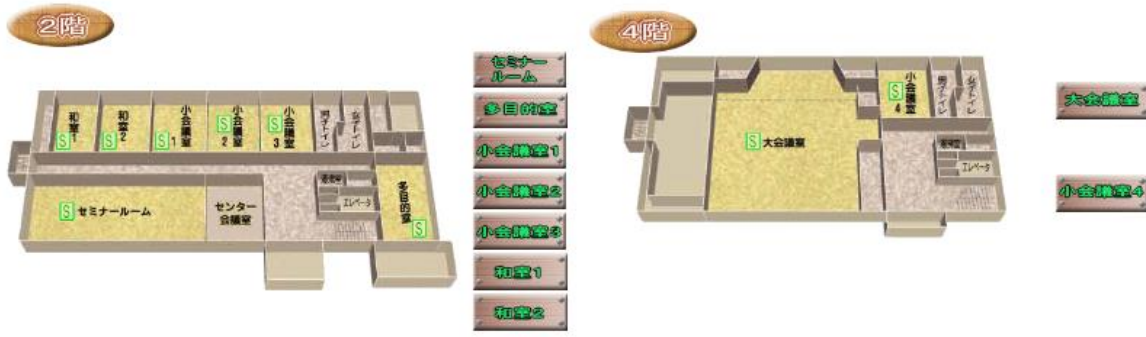
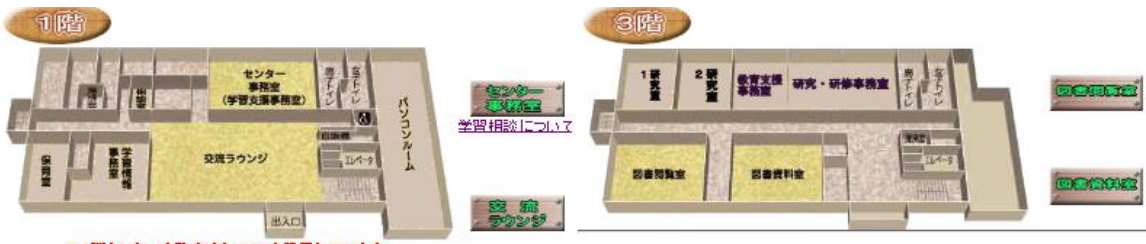


正田(しょうだ) 徳衛(とくえい)

- ニックネーム：ドクター・トーク
- 得意なこと：絵を描くこと・楽器演奏・英語
- よくいる曜日：イベントの日
- メッセージ：ネット！！たまぐー！！ 楽しいぞ！！ いざや！！いざや！！みにゆかん！！

施設名	総合学習センター	設置目的	
利用者数	56,099人(2019年度)	生涯学習社会の実現を図るため、市民の生涯学習活動を支援するとともに、学校教育及び社会教育の向上に必要な調査、研究、研修を行う。	
運営形態(導入年)	一部事業委託(2008～)		
設置者(所管)	教育委員会生涯学習部生涯学習センター		
受託者	(公社)相模原・町田大学地域コンソーシアム		
0)事例の特徴		基本情報	
隣接し、協働で大学地域コンソーシアムを立ち上げている相模原市の生涯学習センター。市民大学講座を大学地域コンソーシアムに委託している。学校教育部所管の教育センターと生涯学習部所管の生涯学習センターが複合し、総合学習センターとなっており、学校教育部門との連携が目立つ。		分類	生涯学習センター
		施設規模	4階建て単独
		開館時間	9:00～22:00
		休館日	第3木曜日
		職員数	22名(正規6会計年度16)
1)講座事業(白数字＝民間、黒数字＝行政)			
<p>①研究機関等公開講座・・・宇宙航空研究開発機構、国民生活センター、外務省研修所など市内の研究機関との連携による講座</p> <p>②市民大学講座・・・大学地域コンソーシアムに委託し、大学の公開講座レベルの内容を市民に提供している。</p> <p>③生涯学習まちかど講座・・・行政の出前講座</p> <p>④講座事業・・・センターの自主講座。年間5講座程度。</p> <p>⑤教職員研修・市民公開講座・・・教職員研修を市民に公開。</p>			
2)施設貸出			
定員204人の大会議室、72人のセミナールーム、多目的室、会議室、和室など9施設を貸し出し。			
【主な利用料金(全日)】			
大会議室(14,300円)			
セミナールーム(7,700円)			
会議室・和室(2,200円)			
3)情報提供・その他特徴的な事業			
【その他事業】			
学習相談・・・生涯学習推進員による相談・支援の実施(年間280件)			
相模原地域づくり大学・・・市民大学とは別に市民協働推進課が地域活動・市民活動に役立つ知識を体系的に学べる「相模原地域づくり大学」を実施しているが、こちらと同じコンソーシアムが受託している。			
4)民間活力導入の評価			
事業委託であるため、公的な評価は出されていないが、(社)学び・まちづくり推進機構内の全国市民大学連合による第1期優良市民大学選定(2018年度)において、優良25団体の選からは漏れたものの渋谷区のシブヤ大学等と並び「調査継続団体」(選定時に注目されたが調査資料不足等により継続調査となったもの)に位置づけられている。			







施設名	市民会館・公民館	設置目的
利用者数	199,575人(2018年度)	社会教育法第20条の目的を達成するため、同法第24条の規定に基づき設置する(公民館)。
運営形態(導入年)	指定管理(2009～ 市民会館部分のみ)	
設置者(所管)	教育委員会公民館	
受託者	(株)コンベンションリンケージ(2019～)	
0) 事例の特徴 市民会館(町田市でいう市民ホール)と公民館の複合施設で、市民会館部分に指定管理者制度を導入。建物内に公民館の占有区画(音楽室、視聴覚室、調理室、美術室、児童室)が存在するが、公民館の事務所自体は別棟にある。別に事務局に生涯学習推進課があり、人材バンクや主催事業を実施。		基本情報
		分類
		公民館
		施設規模
		地下1階地上3階単独
		開館時間
		9:00～22:00
		休館日
		月曜日
		職員数
		管理8名公民館11名
1) 講座事業(白数字＝民間、黒数字＝行政) ①文化事業・・・コンサートのほか、ワークショップ(フラメンコ、子ども向け工作など)を実施。 ②公民館事業・・・地域館3館と併せ、年間70講座を実施。 学級・講座: 幼児対象、青少年対象、女性対象、成人対象、障がい者対象、高齢者対象 行事: コンサート、公民館まつり、公民館のつどい		
2) 施設貸出 市民会館施設として、定員1062人の大ホール、260人の小ホール、展示スペース、10人～100人の集会室8室を貸し出している。別に公民館施設として音楽室、視聴覚室、調理室、美術室、児童室があり、こちらも貸出を行っている。  【主な利用料金(全日)】 大会議室(14,300円)、セミナールーム(7,700円)、会議室・和室(2,200円)、音楽室(5,200円)、調理室(4,600円) ※「公民館サークル」登録制度があり、特定の要件を満たした団体は利用料金が免除される。		
3) 情報提供・その他特徴的な事業 【情報提供】 公民館資料室・・・市民会館・公民館と別棟の公民館事務所棟に資料室を設置し、社会教育・生涯学習関連資料の閲覧が可能となっている。 【その他】 講師派遣事業・・・サークルが講師を招聘する際、謝礼を助成。 社会教育用備品の貸し出し 学習支援・相談		
4) 民間活力導入の評価 指定管理者制度を5年任期で導入しているが、2014～2018年度と2019～2023年度で受託業者が変わっている。 2017年度指定管理者監査では「業務内容・履行方法について概ね適正に執行されている」が ①キャンセル時に理由を問わず料金を還付している点②設備管理者が施設に常駐しておらず、軽微な不具合対応が遅れがちな点③公民館区画の貸出時管理者から公民館に確認する流れとなっており、利用者を待たせる結果となっている点について指摘が入っている。別に④空調修繕において自社開発のシステムを導入し、修繕見積額の1/7で修繕できた点は評価されている。 2020年度モニタリングでは、台風時の避難所開設・運営対応、コロナ対策が適切に行われたこと、30件の施設不具合を解消したことが評価されている。		



【 施 設 】 福生市民会館・公民館

- [福生市民会館大ホール](#) ● [第8集会室](#)

---

- [福生市民会館小ホール](#) ● [調理室](#)

---

- [リハーサル室](#) ● [美術室](#)

---

- [第1集会室](#) ● [音楽室](#)

---

- [第2集会室](#) ● [視聴覚室](#)

---

- [第3集会室](#) ● [児童室](#)

---

- [第4集会室](#) ● [展示スペース](#)

---

- [第5集会室](#)

---

- [第6集会室\(和室\)](#)

---

- [第7集会室\(和室\)](#)

---

施設名	生涯学習情報コーナー	設置目的	
利用者数	不明	絵画・音楽・スポーツなど何かを学習したい方や、新たな出会いの場をお探しの方に様々な情報を提供する。	
運営形態(導入年)	事業委託(2007～)		
設置者(所管)	生活文化スポーツ部文化生涯学習課		
受託者	NPO調布市地域情報化コンソーシアム		
0)事例の特徴 情報収集・提供と学習相談に特化した施設。別に教育委員会で公民館3館を運営しており、講座事業や施設貸出は公民館で行われている。情報提供という特定の機能だけを地域・市民からなるNPO法人と連携して実施している(施設の運営は直営、HPの運営はNPO)。		基本情報	
		分類	その他施設
		施設規模	12階建ての11階の一部
		開館時間	9:00～21:30
		休館日	第4月曜日
		職員数	2人
1)講座事業(白数字＝民間、黒数字＝行政) 市内に3館ある公民館で実施。			
2)施設貸出 市内に3館ある公民館で実施。  情報提供コーナーには8卓のテーブルがあり、テーブル単位で予約し、学習活動を行うことが可能(無料)。			
3)情報提供・その他特徴的な事業 【情報提供】 学習情報(講座・教室案内)、施設情報(利用可能公共施設情報)、団体・サークル情報(学習団体、ボランティアなど)、人材情報(講師、指導者) 【学習相談】 【サークルの交流】 会員募集、情報交換 ※これら情報を掲載したHPをNPOが作成し、運営している。			
4)民間活力導入の評価 「情報技術を活用し、市民が直面する課題や困難を解決したり、暮らしやすいコミュニティを創出すること」を目的に「地域情報化基本計画」が策定され、「市民みずからの手による」という計画の理念を実践するため、計画づくりに関わった市民によりNPO法人調布市地域情報化コンソーシアムが発足している。 生涯学習分野に限らず、地域コミュニティ、観光などでも市からホームページの運営を受託している。			





文化会館たづくり 11階

調布市生涯学習情報コーナー

- 生涯学習のご案内
- アクセス
- リンク集
- 登録情報の更新
- 新規登録のご案内



情報の提供

- イベントをさがす
- サークルをさがす
- 施設をさがす
- 人材をさがす
- 協定大学の情報をみる
- 生涯学習情報コーナーを利用する
- このサイトについて



学習情報

市などの公的機関が催す講座・教室や国・公・私立大学の公開講座、民間のカルチャー教室などの情報

施設情報

学習や集会に使える市内の公共施設などの情報

団体・サークル情報

市内で活動している文化・学習・趣味・スポーツ・ボランティアなどの団体・サークル情報

人材情報

学習活動、講座・講演会などの講師・指導者の情報

<参考>

指定管理者制度と業務委託の相違点

区分	指定管理者制度	業務委託
制度が導入された背景等	地方公共団体が設置する「公の施設(住民福祉を増進する目的をもって、その利用に供するため地方公共団体が設ける施設)」の管理運営について、民間事業者等に行わせることを可能とする地方自治法上の制度。 昨今の多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ることを目的としている。	—
受託主体	法人その他の団体 ※法人格は必ずしも必要ではないが、個人は不可。	限定はない。 ※議員・長の兼業禁止あり。(地方自治法第92条の2、第142条)
地方公共団体との法的な関係	「管理代行」 指定(行政処分的一种)により、公の施設の管理権限を指定を受けたものに委任。 指定処分は請負契約と異なるため入札手続きの対象とならない。	「私法上の契約関係」 契約に基づく個別の事務または業務の執行の委託。
施設の管理権限	地方公共団体または指定管理者 ※管理の基準、業務の範囲は条例で定めることが必要。	地方公共団体
施設の使用許可等	指定管理者が行うことができる。	受託者はできない。
利用条件	指定管理者はできない。	受託者はできない。
利用料金制度	採用することができる。 ※条例で定める範囲内で料金設定が可能。	採用することはできない。
公の施設の設置者としての責任	地方公共団体	地方公共団体
利用者に損害を与えた場合	地方公共団体にも責任が生じる場合がある。	地方公共団体にも責任が生じる場合がある。